さいたま市公民館運営審議会第6回会議 議事録

1 開催日時

令和7年5月13日(火) 10時00分から11時30分まで

2 開催場所

生涯学習総合センター 10階 多目的ホール

3 出席者

〈委員:11名〉

- ① 加藤 美幸 委員長
- ② 磯田 三津子 副委員長
- ③ 太田 祐子 委員
- ④ 大塚 晶子 委員
- ⑤ 小森谷 由紀江 委員
- ⑥ 佐藤 一子 委員
- ⑦ 島田 正次 委員
- ⑧ 白石 徳一郎 委員
- ⑨ 富田 敏弘 委員
- ⑩ 西形 恵美子 委員
- ① 山口 哲生 委員

〈拠点公民館職員:10名〉

① 西 区	指扇公民館長	菅野 剛史
② 北 区	大砂土公民館長補佐	三城 庄司
③ 大宮区	桜木公民館長	細井 規夫
④ 見沼区	大砂土東公民館長	茂木 深雪
⑤ 中央区	鈴谷公民館長	貫井 直美
⑥ 桜 区	田島公民館長	舟腰 祐子
⑦ 浦和区	岸町公民館長	河原塚 政行
⑧ 南 区	文蔵公民館長	桑原 健司
9 緑 区	大古里公民館長	酒井 浩志
10 岩槻区	岩槻本丸公民館長	石関 達

〈事務局:8名〉

生涯学習総合センター

① 館長② 副館長③ 主幹兼事業・企画係長④ 事業・企画係主査杉本 達洋大城 冬樹山田 浩行4 香織

- ⑤ 事業・企画係主査 三好 七月
- ⑥ 事業·企画係主事 小暮 裕貴
- ⑦ 事業·企画係社会教育指導員 成尾 千里
- ⑧ 事業·企画係社会教育指導員 田山 基子
- 4 欠席者

〈委員:1名〉

- ① 小林 玲子 委員
- 5 事務局からの報告、説明等
 - ・前回会議録について
- 6 配布資料
 - (1) さいたま市公民館運営審議会第6回会議 次第
 - (2) さいたま市公民館運営審議会第6回会議 席次表
 - (3) さいたま市公民館運営審議会第5回会議 議事録
 - (4) さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(案)
 - (5) 公民館ビジョン取組評価シート(別紙1)
 - (6) 公民館ビジョン取組評価(別紙2)
 - (7) 令和6年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書【Aグループ】【Bグループ】
- 7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0名

9 会議

委員の半数以上が出席しているため成立

- 10 内容
 - ・冒頭、事務局より、4月の人事異動で拠点公民館長に着任した館長及び事務局職員の紹介を行った。
 - ・前回会議録について報告を行った。

議題1 「公民館ビジョンに基づく取組の評価について」

・資料「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(案)」に沿って事務局から説明を行った後、評価の方法や着眼点について議論を行った。

ムナチロ	₩ HD 4.15) = 0 1.15 × .
白石委員	説明内容について3点付う。
	1点目、毎年評価する館を選ぶのか。あるいは10年、20年の計画の中で輪番
	として行うのか。
	2点目、「公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書(以下、取組実績報告
	書)」は毎年全館が提出するものなのか。今回だけのものなのか。
	3点目、各館の報告書は、委員だけが共有しているのか。すべての公民館が
	閲覧できるのか。
事務局	1点目については毎年度行うことを想定している。
	2点目については毎年度全公民館が作成している。また、今回の評価とは別
	件で、この取組実績報告書をもとに公民館内で評価を行い、優良公民館表彰
	を実施している。
	3点目について、取組実績報告書は取りまとめをして、全公民館で共有する
	とともにホームページにも掲載して周知を行っている。
加藤委員長	時間配分について、プレゼンテーションは10分でよいと思うが、委員による
	協議が10分では足りないのではないか。
島田委員	10分でまとめるのは難しいと思う。15分程度あるとよいのではないか。
白石委員	時間配分はどういう館を選ぶかによって変わると思う。良いところを見つけ
	る議論であれば短くなると思うが、課題点について解決策を見つけようとい
	う話になると時間が足りなくなるのではないか。
太田委員	評価コメントの記入も5分では短いと思う。
事務局	適正な時間配分となるよう検討してまいりたい。
佐藤委員	評価対象の49館全部を評価するという想定に至っていないが、評価対象が限
	定されるということになってよいのか。また、私たちの興味だけで選んでよ
	いのか。問題点や課題を一緒に考えるような想定で選ぶなど、バランスを検
	討する必要があると思う。
事務局	事務局内でも、委員の任期中にこの館数だけでよいのかという検討を行っ
	た。本来であれば全館を評価していただくのが一番の形だと考えているが、
	今回はこの形でスタートして、今後、検討を重ねブラッシュアップしていけ
	ればと考えている。
加藤委員長	様々な課題や問題に対しての解決策を考えるような評価の仕方もあると思
	う。
佐藤委員	例えば、防災学習のような施策が機能しているかどうかを優先的な課題にす
	 る、高齢者中心で若者がほとんど参加できていないというような地域の特性
	に課題意識を向けるなど、公民館の実態からどのような課題を見出していく
	のかという道筋は区・館ごとに考えがあると思うので、私たちが興味で選ぶ
	ものとその両方のバランスが大事だと思う。
	10.000000000000000000000000000000000000

山口委員	ユニークな取り組みを行っている公民館を「イイね!」で評価して、他の館
	いという館を推薦してもらい、よりよくなるよう建設的な意見を出したい。
	評価の実施に当たって評価規準があるとよい。例えば、内容が良く、参加率
	が高いなどすぐに定員に達するような人気のある講座はうまくいっている事
	例になるので、参加数や定員に対する参加率などが評価規準になると思う。
	評価の規準は、公民館ビジョンの核となっている「人づくり」「つながりづ
	くり」「地域づくり」の3つの柱に沿った良い取組をしているという視点が
	よい。
/	せネラルなレベルの評価と、ユニークあるいは課題への取組の評価と2通り
佐藤委員	
	想定できる。例えば、「つながりづくり」でも、障害者や外国人のような特
	定の対象にポイントを絞った取組によってつながりができたとき、それが多
	数の取組ではなくても、小さいけれど価値がある取組である。
加藤委員長	人数ばかりを追ってしまうと、人が集まるような事業に偏ってしまう。地域
	の課題を解決するようなチャレンジングな取組も取り上げられるとよい。
白石委員	評価規準はどのような視点で評価するのかというもので、ABC評価をする
	ための評価基準ではない。評価対象館の選定については、区ごとにどういう
	視点で推薦したのかを示していただき、代表館の選定の際にも色々な見方で
	評価ができるのではないかと思うので、評価規準を示していただけるといい
	と思う。「地域づくり」と言っても都市部と郊外では別の地域課題があるの
	で、地域独自の多様な視点を踏まえた評価規準が必要である。
加藤委員長	「公民館ビジョン取組評価シート(以下、取組評価シート)」の様式に「取
	組のイイね!ポイント」という欄があるので、そこに1つの決まった規準だ
	けではなく、評価のポイントとなるものを入れるとよいと思う。
佐藤委員	地域独自の課題をきちんと見据えて、問題提起につなげていくことを期待し
	たい。市民が関心を持って取り組める方向性を持たせることが、公民館の果
	たす役割につながっていく。
加藤委員長	「人づくり」や「つながりづくり」は、最終的には「地域づくり」につなが
	るものなので、まず1回目は「地域づくり」をテーマにした館を選んでもよ
	いと思う。
磯田副委員長	地域の課題や特徴は資料だけでは見えないものがある。拠点公民館長が聞き
	取りをしながら、多様な角度で選んでいただけるとよいと思う。
	「地域づくり」なら「地域づくり」とピンポイントで決めた方がよいのでは
,,,,	ないか。その中で問題や課題を抱える公民館を選び、委員が議論して解決に
	向けていく方が今後の事業の成果につながる。
太田委員	取組実績報告書は、いつ提出され、評価するのはいつ頃なのか。提出と同時
	期に翌年度の方向性が決まってしまうのでは、その時点で評価をしても翌年
	度に生かされないのではないか。
 事務局	取組実績報告書は、年度末に各館でまとめているため、評価の内容は反映が
ず 7刀 /刊 	可能だと考えられる。また、今回の評価については7月にプレゼンテーショ
	「切配にてちんり4/3。また、ケ凹の計画についてはイガにノレビンケーショ

ンを予定している。

議題2「評価対象公民館の選定について」

事務局 選定方法について、拠点公民館長からの推薦というご意見をいただいたが、そのような方式でよろしいか。 その方式がよいと思う。ぜひみんなに関いてもらいたいという意欲のある館を選んでほしい。あるいは、必死に取り組んでいるがなかなか結果が出ないので委員のアドバイスがほしいというようなスタンスで臨んでほしい。加藤委員長 医ごとに1館推薦してもらい、取組実績報告告を見て委員が決めるというのがよいと思う。公民館ビジョンを推進し具現化しているという視点で拠点公民館長に推薦していただけると、委員も選びやすいと思う。 パワーポイントのフォーマットを決めて、発表のパターンを統一すればプレゼンをしやすいのではないか。 具体的な方法として、各区から推薦された10館を委員にメールで報告し、各委員が上位2館を選ぶというがはどうか。 本来は話し合って決めた方がよいが、スケジュールの問題もあるため今回は、各区で選んだ館を事務局からメールで委員に報告してもらい、各委員が2館を選ぶ。そして、事務局でその数を集計して上位2館を選出するという形とする。次回からは委員で話し合って決める形になるかと思うが、とりあえず1回やってみるということが大事だと思う。 地域課題の解決に資するような内容のものという視点で検討し、それを拠点公民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければと思う。 先ほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に数えてほしい。 年務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル(P国)→ Do (実行)→ Check (評価)→ Action (改善))のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について (索)」に基づいてということでよいか。		-
□口委員 その方式がよいと思う。ぜひみんなに聞いてもらいたいという意欲のある館を選んでほしい。あるいは、必死に取り組んでいるがなかなか結果が出ないので委員のアドバイスがほしいというようなスタンスで臨んでほしい。 区ごとに1館推薦してもらい、取組実績報告書を見て委員が決めるというのがよいと思う。公民館ビジョンを推進し具現化しているという視点で拠点公民館長に推薦していただけると、委員も選びやすいと思う。 パワーボイントのフォーマットを決めて、発表のパターンを統一すればブレゼンをしやすいのではないか。 事務局 具体的な方法として、各区から推薦された10館を委員にメールで報告し、各委員が上位2館を選ぶという形はどうか。 本来は話し合って決めた方がよいが、スケジュールの問題もあるため今回は、各区で選んだ館を事務局からメールで委員に報告してもらい、各委員が2館を選ぶ。そして、事務局でその数を集計して上位2館を選出するという形とする。次回からは委員で話し合って決める形になるかと思うが、とりあえず1回やってみるということが大事だと思う。 地域課題の解決というのは、今後、やり続けなければいけないものだと考えているが、今回の取組実績報告書を見ると、「地域づくり」と書かれているものが少ないのが現状である。例えば、「つながりづくり」であっても、地域課題の解決に資するような内容のものという視点で検討し、それを拠点公民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければと思う。 地域課題の解決に資するような内容のものという視点を検討し、それを拠点公民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければと思う。 本語のあった優良公民館よのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。 を良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル(Plan(計画)→ Do (実行) → Check (評価) → Action (改善) のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 を後日の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(楽)」に基づいてということでよいか。	事務局	選定方法について、拠点公民館長からの推薦というご意見をいただいたが、
を選んでほしい。あるいは、必死に取り組んでいるがなかなか結果が出ないので委員のアドバイスがほしいというようなスタンスで臨んでほしい。 区ごとに1館推薦してもらい、取組実績報告書を見て委員が決めるというのがよいと思う。公民館じジョンを推進し具現化しているという視点で拠点公民館長に推薦していただけると、委員も遊びやすいと思う。 大塚委員 パワーポイントのフォーマットを決めて、発表のパターンを統一すればプレゼンをしやすいのではないか。 具体的な方法として、各区から推薦された10館を委員にメールで報告し、各委員が上位2館を選ぶという形はどうか。 本来は話し合って決めた方がよいが、スケジュールの問題もあるため今回は、各区で選んだ館を事務局からメールで委員に報告してもらい、各委員が2館を選ぶ。そして、事務局でその数を集計して上位2館を選出するという形とする。次回からは委員で話し合って決める形になるかと思うが、とりあえず1回やってみるということが大事だと思う。 事務局 地域課題の解決というのは、今後、やり続けなければいけないものだと考えているが、今回の取組実績報告を見ると、「地域づくり」と書かれているものが少ないのが現状である。例えば、「つながりづくり」であっても、地域課題の解決に資するような内容のものという視点で検討し、それを拠点公民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければと思う。 山口委員 先ほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。 事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル(Plan(計画)→ Do (実行) → Check (評価) → Action (改善) のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 得しる方式にいることもあれば、そうでない場合もある。 審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(案)」に基づいてということでよいか。		そのような方式でよろしいか。
ので委員のアドバイスがほしいというようなスタンスで臨んでほしい。 D	山口委員	その方式がよいと思う。ぜひみんなに聞いてもらいたいという意欲のある館
加藤委員長 区ごとに1 館推薦してもらい、取組実績報告書を見て委員が決めるというのが よいと思う。公民館ビジョンを推進し具現化しているという視点で拠点公民館 長に推薦していただけると、委員も選びやすいと思う。		を選んでほしい。あるいは、必死に取り組んでいるがなかなか結果が出ない
はいと思う。公民館ビジョンを推進し具現化しているという視点で拠点公民館長に推薦していただけると、委員も選びやすいと思う。 大塚委員 パワーポイントのフォーマットを決めて、発表のパターンを統一すればブレゼンをしやすいのではないか。 事務局 具体的な方法として、各区から推薦された10館を委員にメールで報告し、各委員が上位2館を選ぶという形はどうか。 加藤委員長 本来は話し合って決めた方がよいが、スケジュールの問題もあるため今回は、各区で選んだ館を事務局からメールで委員に報告してもらい、各委員が2館を選ぶ。そして、事務局でその数を集計して上位2館を選出するという形とする。次回からは委員で話し合って決める形になるかと思うが、とりあえず1回やってみるということが大事だと思う。 事務局 地域課題の解決というのは、今後、やり続けなければいけないものだと考えているが、今回の取組実績報告書を見ると、「地域づくり」と書かれているものが少ないのが現状である。例えば、「つながりづくり」であっても、地域課題の解決に資するような内容のものという視点で検討し、それを拠点公民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければと思う。 山口委員 先ほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。 事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル(Plan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Action(改善))のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(案)」に基づいてということでよいか。		ので委員のアドバイスがほしいというようなスタンスで臨んでほしい。
表に推薦していただけると、委員も選びやすいと思う。 大塚委員 バワーポイントのフォーマットを決めて、発表のバターンを統一すればプレゼンをしやすいのではないか。 事務局 具体的な方法として、各区から推薦された10館を委員にメールで報告し、各委員が上位2館を選ぶという形はどうか。 加藤委員長 本来は話し合って決めた方がよいが、スケジュールの問題もあるため今回は、各区で選んだ館を事務局からメールで委員に報告してもらい、各委員が2館を選ぶ。そして、事務局でその数を集計して上位2館を選出するという形とする。次回からは委員で話し合って決める形になるかと思うが、とりあえず1回やってみるということが大事だと思う。 事務局 地域課題の解決というのは、今後、やり続けなければいけないものだと考えているが、今回の取組実績報告書を見ると、「地域づくり」と書かれているものが少ないのが現状である。例えば、「つながりづくり」であっても、地域課題の解決に資するような内容のものという視点で検討し、それを拠点公民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければと思う。 山口委員 先ほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。 事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル(Plan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Action(改善)のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(案)」に基づいてということでよいか。	加藤委員長	区ごとに1館推薦してもらい、取組実績報告書を見て委員が決めるというのが
大塚委員 パワーポイントのフォーマットを決めて、発表のパターンを統一すればプレゼンをしやすいのではないか。 事務局 具体的な方法として、各区から推薦された10館を委員にメールで報告し、各委員が上位2館を選ぶという形はどうか。 加藤委員長 本来は話し合って決めた方がよいが、スケジュールの問題もあるため今回は、各区で選んだ館を事務局からメールで委員に報告してもらい、各委員が2館を選ぶ。そして、事務局でその数を集計して上位2館を選出するという形とする。次回からは委員で話し合って決める形になるかと思うが、とりあえず1回やってみるということが大事だと思う。 事務局 地域課題の解決というのは、今後、やり続けなければいけないものだと考えているが、今回の取組実績報告書を見ると、「地域づくり」と書かれているものが少ないのが現状である。例えば、「つながりづくり」であっても、地域課題の解決に資するような内容のものという視点で検討し、それを拠点公民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければと思う。 山口委員 先ほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル (Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Action (改善))のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 像良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について (案)」に基づいてということでよいか。		よいと思う。公民館ビジョンを推進し具現化しているという視点で拠点公民館
変した。 東務局 具体的な方法として、各区から推薦された10館を委員にメールで報告し、各委員が上位2館を選ぶという形はどうか。 加藤委員長 本来は話し合って決めた方がよいが、スケジュールの問題もあるため今回は、各区で選んだ館を事務局からメールで委員に報告してもらい、各委員が2館を選ぶ。そして、事務局でその数を集計して上位2館を選出するという形とする。次回からは委員で話し合って決める形になるかと思うが、とりあえず1回やってみるということが大事だと思う。 事務局 地域課題の解決というのは、今後、やり続けなければいけないものだと考えているが、今回の取組実績報告書を見ると、「地域づくり」と書かれているものが少ないのが現状である。例えば、「つながりづくり」であっても、地域課題の解決に資するような内容のものという視点で検討し、それを拠点公民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければと思う。 山口委員 先ほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。 事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル (Plan (計画)→ Do (実行)→ Check (評価)→ Action (改善))のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 像良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。 審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(案)」に基づいてということでよいか。		長に推薦していただけると、委員も選びやすいと思う。
事務局 具体的な方法として、各区から推薦された10館を委員にメールで報告し、各委員が上位2館を選ぶという形はどうか。 本来は話し合って決めた方がよいが、スケジュールの問題もあるため今回は、各区で選んだ館を事務局からメールで委員に報告してもらい、各委員が2館を選ぶ。そして、事務局でその数を集計して上位2館を選出するという形とする。次回からは委員で話し合って決める形になるかと思うが、とりあえず1回やってみるということが大事だと思う。 地域課題の解決というのは、今後、やり続けなければいけないものだと考えているが、今回の取組実績報告書を見ると、「地域づくり」と書かれているものが少ないのが現状である。例えば、「つながりづくり」であっても、地域課題の解決に資するような内容のものという視点で検討し、それを拠点公民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければと思う。 歩張ど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。 事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル (Plan (計画)→Do (実行)→Check (評価)→Action (改善))のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(案)」に基づいてということでよいか。	大塚委員	パワーポイントのフォーマットを決めて、発表のパターンを統一すればプレ
本来は話し合って決めた方がよいが、スケジュールの問題もあるため今回は、各区で選んだ館を事務局からメールで委員に報告してもらい、各委員が2館を選ぶ。そして、事務局でその数を集計して上位2館を選出するという形とする。次回からは委員で話し合って決める形になるかと思うが、とりあえず1回やってみるということが大事だと思う。 地域課題の解決というのは、今後、やり続けなければいけないものだと考えているが、今回の取組実績報告書を見ると、「地域づくり」と書かれているものが少ないのが現状である。例えば、「つながりづくり」と書かれているものが少ないのが現状である。例えば、「つながりづくり」であっても、地域課題の解決に資するような内容のものという視点で検討し、それを拠点公民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければと思う。 山口委員 先ほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル (Plan (計画)→Do (実行)→Check (評価)→Action (改善)のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について (案)」に基づいてということでよいか。		ゼンをしやすいのではないか。
加藤委員長 本来は話し合って決めた方がよいが、スケジュールの問題もあるため今回 は、各区で選んだ館を事務局からメールで委員に報告してもらい、各委員が 2館を選ぶ。そして、事務局でその数を集計して上位 2 館を選出するという 形とする。次回からは委員で話し合って決める形になるかと思うが、とりあえず1回やってみるということが大事だと思う。 地域課題の解決というのは、今後、やり続けなければいけないものだと考えているが、今回の取組実績報告書を見ると、「地域づくり」と書かれているものが少ないのが現状である。例えば、「つながりづくり」であっても、地域課題の解決に資するような内容のものという視点で検討し、それを拠点公民館長に共有して、その中で1 館を推薦するという形にさせていただければと思う。 たほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。 事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル(Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Action (改善)) のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について (案)」に基づいてということでよいか。	事務局	具体的な方法として、各区から推薦された10館を委員にメールで報告し、
は、各区で選んだ館を事務局からメールで委員に報告してもらい、各委員が 2館を選ぶ。そして、事務局でその数を集計して上位2館を選出するという 形とする。次回からは委員で話し合って決める形になるかと思うが、とりあ えず1回やってみるということが大事だと思う。 事務局 地域課題の解決というのは、今後、やり続けなければいけないものだと考え ているが、今回の取組実績報告書を見ると、「地域づくり」と書かれている ものが少ないのが現状である。例えば、「つながりづくり」であっても、地 域課題の解決に資するような内容のものという視点で検討し、それを拠点公 民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければ と思う。 地口委員 先ほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価 とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。 事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共 有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル (Plan (計 画) → Do (実行) → Check (評価) → Action (改善) のCの部分にあ たり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎に なるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。 審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について (案)」に基づいてということでよいか。		各委員が上位2館を選ぶという形はどうか。
2 館を選ぶ。そして、事務局でその数を集計して上位2館を選出するという 形とする。次回からは委員で話し合って決める形になるかと思うが、とりあ えず1回やってみるということが大事だと思う。 事務局 地域課題の解決というのは、今後、やり続けなければいけないものだと考え ているが、今回の取組実績報告書を見ると、「地域づくり」と書かれている ものが少ないのが現状である。例えば、「つながりづくり」であっても、地 域課題の解決に資するような内容のものという視点で検討し、それを拠点公 民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければ と思う。 先ほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価 とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。 事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共 有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル(Plan(計 画)→ Do (実行) → Check(評価)→ Action (改善) のCの部分にあ たり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎に なるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。 審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について (案)」に基づいてということでよいか。	加藤委員長	本来は話し合って決めた方がよいが、スケジュールの問題もあるため今回
形とする。次回からは委員で話し合って決める形になるかと思うが、とりあえず1回やってみるということが大事だと思う。 事務局 地域課題の解決というのは、今後、やり続けなければいけないものだと考えているが、今回の取組実績報告書を見ると、「地域づくり」と書かれているものが少ないのが現状である。例えば、「つながりづくり」であっても、地域課題の解決に資するような内容のものという視点で検討し、それを拠点公民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければと思う。 山口委員 先ほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。 事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル(Plan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Action(改善))のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(案)」に基づいてということでよいか。		は、各区で選んだ館を事務局からメールで委員に報告してもらい、各委員が
ま務局 地域課題の解決というのは、今後、やり続けなければいけないものだと考えているが、今回の取組実績報告書を見ると、「地域づくり」と書かれているものが少ないのが現状である。例えば、「つながりづくり」であっても、地域課題の解決に資するような内容のものという視点で検討し、それを拠点公民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければと思う。 山口委員 先ほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。 事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル(Plan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Action(改善))のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 非価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(案)」に基づいてということでよいか。		2館を選ぶ。そして、事務局でその数を集計して上位2館を選出するという
事務局 地域課題の解決というのは、今後、やり続けなければいけないものだと考えているが、今回の取組実績報告書を見ると、「地域づくり」と書かれているものが少ないのが現状である。例えば、「つながりづくり」であっても、地域課題の解決に資するような内容のものという視点で検討し、それを拠点公民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければと思う。 山口委員 先ほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。 事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル(Plan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Action(改善))のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(案)」に基づいてということでよいか。		形とする。次回からは委員で話し合って決める形になるかと思うが、とりあ
でいるが、今回の取組実績報告書を見ると、「地域づくり」と書かれているものが少ないのが現状である。例えば、「つながりづくり」であっても、地域課題の解決に資するような内容のものという視点で検討し、それを拠点公民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければと思う。 山口委員 先ほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。 事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル(Plan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Action(改善))のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(案)」に基づいてということでよいか。		えず1回やってみるということが大事だと思う。
ものが少ないのが現状である。例えば、「つながりづくり」であっても、地域課題の解決に資するような内容のものという視点で検討し、それを拠点公民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければと思う。 山口委員 先ほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。 事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル(Plan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Action(改善))のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(案)」に基づいてということでよいか。	事務局	地域課題の解決というのは、今後、やり続けなければいけないものだと考え
域課題の解決に資するような内容のものという視点で検討し、それを拠点公民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければと思う。 山口委員 先ほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。 事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル(Plan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Action(改善))のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(案)」に基づいてということでよいか。		ているが、今回の取組実績報告書を見ると、「地域づくり」と書かれている
民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければと思う。 山口委員 先ほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。 事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル(Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Action (改善) のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について (案)」に基づいてということでよいか。		ものが少ないのが現状である。例えば、「つながりづくり」であっても、地
世口委員 先ほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。 事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル(Plan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Action(改善))のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(案)」に基づいてということでよいか。 加藤委員長 よいと思う。		域課題の解決に資するような内容のものという視点で検討し、それを拠点公
山口委員 先ほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。 事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル (Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Action (改善))のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(案)」に基づいてということでよいか。 加藤委員長 よいと思う。		民館長に共有して、その中で1館を推薦するという形にさせていただければ
とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。 事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル (Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Action (改善)) のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(案)」に基づいてということでよいか。 加藤委員長 よいと思う。		と思う。
事務局 優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル (Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Action (改善)) のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(案)」に基づいてということでよいか。 加藤委員長 よいと思う。	山口委員	先ほど話のあった優良公民館について、優良公民館表彰の評価と今回の評価
有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル(Plan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Action(改善))のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。 審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(案)」に基づいてということでよいか。 ル藤委員長 よいと思う。		とが重なるのではないか。それとも違うものなのか。簡潔に教えてほしい。
画) → Do (実行) → Check (評価) → Action (改善))のCの部分にあたり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について(案)」に基づいてということでよいか。 よいと思う。	事務局	優良公民館表彰については、選ばれた館の取組を他の公民館が参考のため共
たり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎になるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。 審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について (案)」に基づいてということでよいか。 よいと思う。		有することを行うが、今回審議会で行う評価は、PDCAサイクル(Plan(計
なるものと考えている。 加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。 審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について (案)」に基づいてということでよいか。 加藤委員長 よいと思う。		画) \rightarrow Do(実行) \rightarrow Check(評価) \rightarrow Action(改善))のCの部分にあ
加藤委員長 優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。 審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について (案)」に基づいてということでよいか。		たり、さらにその評価を基にどう改善につなげていくかという視点が基礎に
審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。 事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について (案)」に基づいてということでよいか。 加藤委員長 よいと思う。		なるものと考えている。
事務局 評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について (案)」に基づいてということでよいか。	加藤委員長	優良公民館表彰の評価と同じになることもあれば、そうでない場合もある。
(案)」に基づいてということでよいか。 加藤委員長 よいと思う。		審議会の独自性を生かしてやっていけばよいと思う。
加藤委員長 よいと思う。	事務局	評価の進め方は、「さいたま市公民館ビジョンに基づく取組の評価について
		(案)」に基づいてということでよいか。
評価の進め方についてまとめると、取組評価シートは、委員それぞれが書	加藤委員長	よいと思う。
		評価の進め方についてまとめると、取組評価シートは、委員それぞれが書

_	
	く。「担当者からのPR、相談等」はプレゼンテーションを見て記入するの
	は難しいので、担当者が書く。「取組のイイね!ポイント」はよいと思う観
	点を挙げる。「取組へのアドバイス」は改善に向けたアドバイスを記入す
	る。「公民館職員へのメッセージ」は、応援メッセージを記入する。
	そして「公民館ビジョン取組評価」は、グループでまとめる。各委員が取組
	評価シートをもとに発表。「取組へのイイね!」には委員から出た「イイ
	ね!」を記入。「皆で生かせるポイント!」は「取り組みのイイね!ポイン
	ト」や「取組へのアドバイス」を参考にまとめる。「1upへの道」は「取組
	へのアドバイス」からステップアップを視点にまとめる。「拠点公民館長コ
	メント」は、例えば、中央区の公民館が選ばれたら、中央区の拠点公民館長
	が記入する。
	この方法で行ってみて、書きにくいところなどがあれば、よりよいものに改
	善していく。
事務局	「担当者からのPR、相談等」については、公民館で記入した方がよいか。
加藤委員長	事前に公民館で記入していただいた方が委員にも分かりやすくシートも記入
	しやすくてよい。

11 その他

次回の開催日時については委員長・副委員長と協議の上、後日通知すること、会場は生涯学習総 合センター10 階多目的ホールで開催予定であることを報告した。

12 閉会